

- 出品資格：五段以上。●用紙サイズは半切縦が角半。
- A・B課題は同時出品可能。同時出品の場合は出品券の下部にA・Bを明記すること。
- 条幅出品券を作品の右下に必ず貼付すること。(作品の裏右下には鉛筆で段位と氏名も忘れず記入)

今回のA・B課題共、「踊り字」のところがあります。二字以上の音のくり返し、ことばのくり返しのことの総称です。点々で表す場合もありますし、三文字以上の場合「く」で表現します。作品で用いる時、工夫が要りますね。何時頃から使われたか、明確ではありませんし、使う方のセンスと、解読可能であれば好みに書けば良いと思います。審査は、楽しませていただきました。

かな部 次号課題

A 真白くも五月の空にあらはれて

ほしいままにもゆく雲を見る

(窪田空穂)

・五月の青空に、まことに真白な雲があらわれて、ほしいままに空を流れていくのを仰ぎみる。

B 牡丹散て打かさなりぬ二三片

(与謝蕪村)

・庭の牡丹をながめてみると、咲ききった牡丹がはらりとくずれ散り、地上に二三片重なり合っている。

優秀作品

〈師範・準師範の部〉

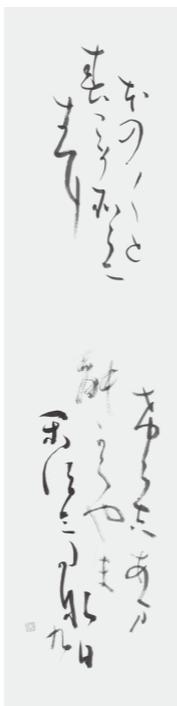


加茂正美 疎密を考慮し立体的な作。

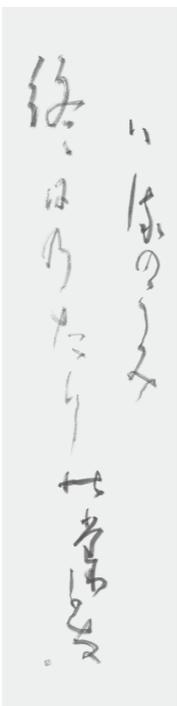


中川千賀子 冴え有る線で余白も美しい。

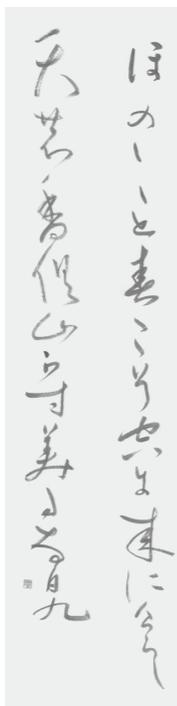
〈助教以下の部〉



小野内亜希子 上下二群のちらしの絶妙の呼応が見事。



種村みや子 条幅紙面を面白く使って佳。



橘佳緒里 変体がなとかなを丁寧な積み上げ、温雅な作。



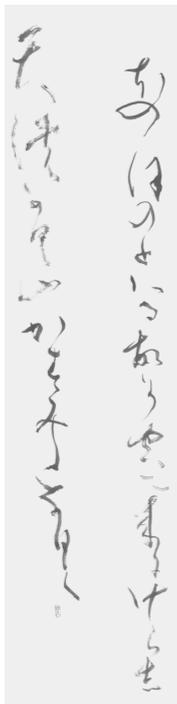
高橋卓也 渴筆部分の見応えは秀逸。



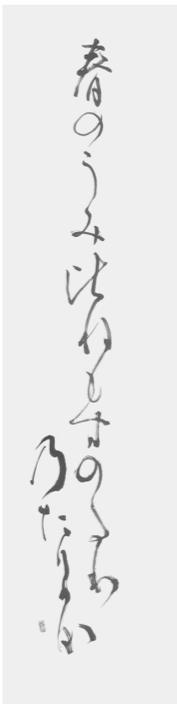
野間千秋 文字の大小の組み合わせも自然で流麗。



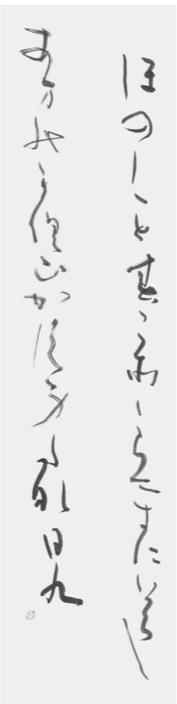
小林緑萱 巧みな筆使いによる線質の変化は素晴らしい。



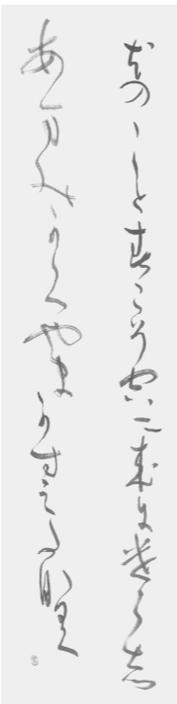
石田陽光 二行の余白の取り方、揺れ、申し分なし。



前田啓齋 骨格の鋭い線、終句の軽妙さは実力有り。



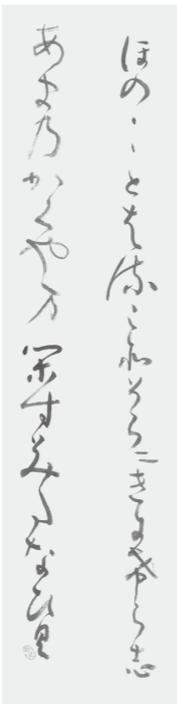
冬廣紫貴 淡々と書かれ、小粒の字形ながら味わい深い作。



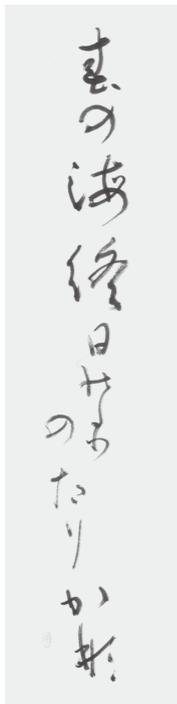
池田春水 素朴な味わいがあるが墨量の変化を望む。



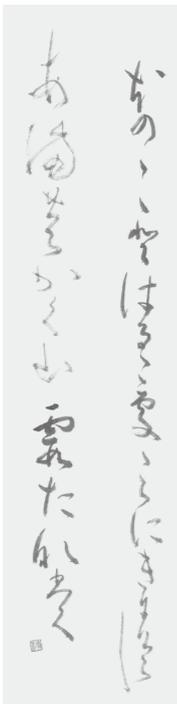
北村映月 淡々と書かれた短冊のよう。印の位置一考。



永島華久 行の揺れが欲しいが墨色も美しく優しい作。



西村希美 「のたり」を二度書き表し、漢字との配分も素晴らしい。



山崎晴美 二行目の渴筆部分の墨色も美しく、「し」の使い方良。



西嶋青暎 最終句踊り字の処理が上手。